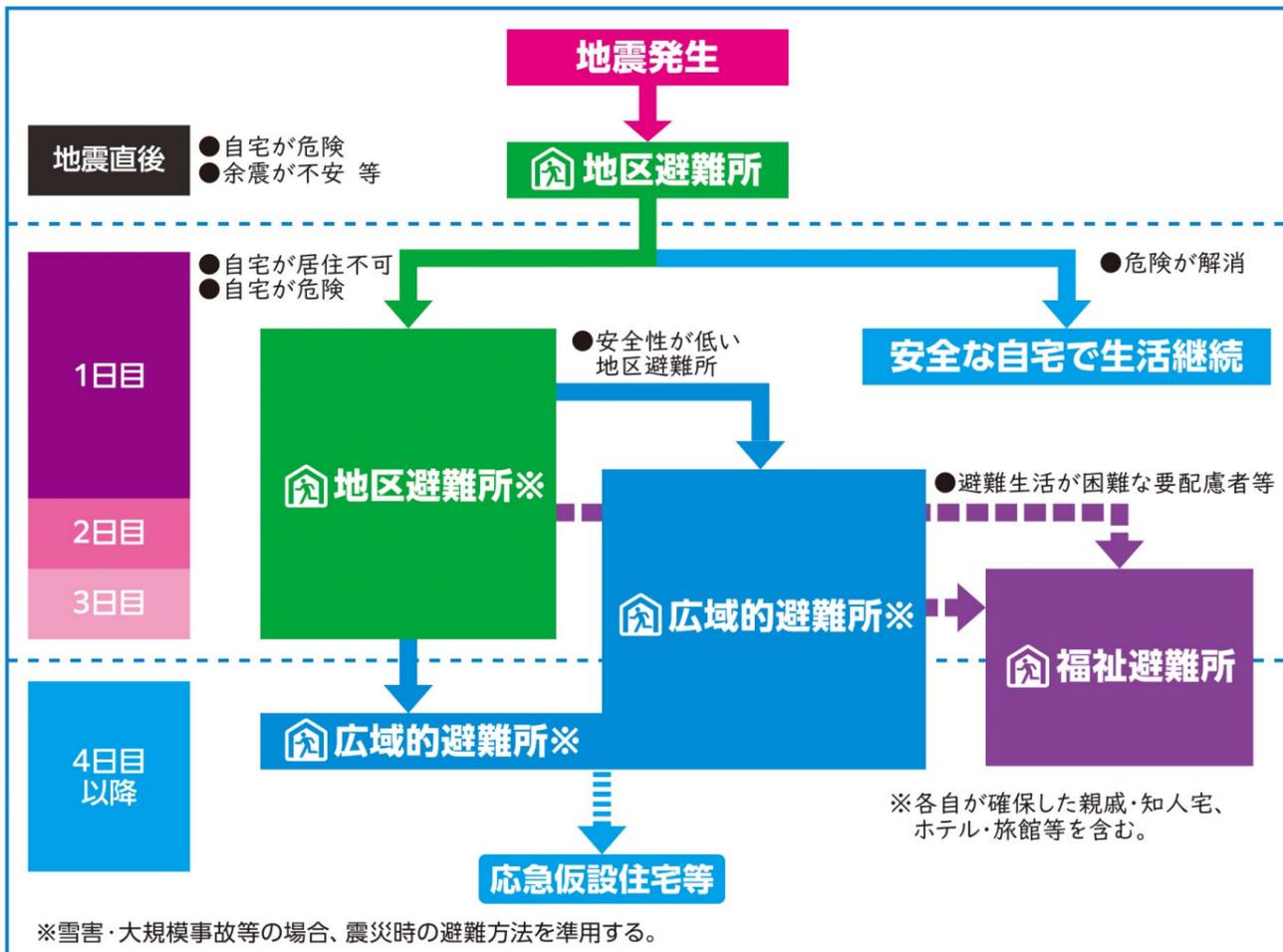


避難時の流れ 震災(雪害・大規模事故等を含む)の場合

- 避難先**
- 地震直後の避難先は、地区避難所とする。
 - 自宅での居住が不可能な場合は、広域的避難所の他、密を避けるため各自が確保した親戚・知人宅、ホテル・旅館等に分散避難をおこない、生活する。
 - ※緊急的な避難者の受け入れにあたっては、避難した全ての者を受け入れる。



避難時の流れ 風水害の場合

- 避難先**
- 基本的に風雨が強まる前の事前避難(警戒レベル2・3)は、広域的避難所とする。
 - 風雨が強まり避難指示(警戒レベル4)を発令した場合は、居住する地区の地区避難所とする。
 - なお、自宅が被災し居住が不可能な場合は、広域的避難所の他、密を避けるため各自が確保した親戚・知人宅、ホテル・旅館等に分散避難を行い、生活する。
 - ※緊急的な避難者の受け入れにあたっては、避難した全ての者を受け入れる。



地震の震度と揺れの状況(震度4以上)

(気象庁資料より引用)

<p>4 【震度4】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ほとんどの人が驚く、電灯などのつり下げ物は大きく揺れる。 ●座りの悪い置物が、倒れることがある。 	<p>6弱 【震度6弱】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●立っていることが困難になる。 ●固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。 ●壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。 ●耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。 	<p>7 【震度7】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものがさらに多くなる。 ●耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。 ●耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが多くなる。
<p>5弱 【震度5弱】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●大半の人が、恐怖を覚え、物につかまらなると感じる。 ●棚にある食器類や本が落ちることがある。 ●固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。 	<p>6強 【震度6強】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●はわないと動くことができない。飛ばされることもある。 ●固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが多くなる。 ●耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが多くなる。 ●大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山体の崩壊が発生することがある。 	<p>震度の決め方</p> <p>震度は、地震による揺れを感知し自動的に震度を計算する「震度計」という機器で観測しています。地震が発生すると、全国の震度計で観測された震度を自動的に収集し、気象庁では地震発生から約1分半後※に各地域の震度を速報でお知らせしています。</p> <p>※震度3以上の場合</p>

警戒レベル(避難のタイミング)について

- 気象庁が発表する防災気象情報や自治体が発表する避難情報は、観測や予測の技術向上や甚大な災害の発生をきっかけに改正されることがあります。
- 下記リンク先を参照し、最新の防災気象情報や避難情報のご確認をお願いいたします。

<p>内閣府</p> <p>避難情報の判断・伝達 https://www.bousai.go.jp/oukyu/hinankankoku/index.html</p>	
<p>気象庁</p> <p>知識・解説 https://www.jma.go.jp/jma/menu/menuknowledge.html</p>	
<p>奥多摩町</p> <p>防災 https://www.town.okutama.tokyo.jp/gyosei/2/anshin_anzen/bosai/index.html</p>	